

1.令和元年度 授業改善推進プラン

国語科

関心・意欲・態度	課題	ひらがなの読みや言葉の意味理解が十分ではないために、読むことへの抵抗感をもつ児童がいる。
	重点	児童個々で教科書などの文章を読む時間を設け、毎日音読の宿題を出し家庭との連携のもとで指導をする。
話すこと 聞くこと	課題	大事なことを聞き取れない児童がいる。
	重点	聞き取りトレーニングや担任が話した内容を児童がもう一度確認をする場面を取り入れる。
書くこと	課題	語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことが難しい児童がいる。
	重点	身近なことから文章を書かせ、書く時間を適宜設ける。
読むこと	課題	練習を繰り返せば、音声を覚えて音読することができるが、語のまとまりをとらえて音読することが難しい児童がいる。
	重点	音読することの楽しさを味わわせるために、音読の仕方を工夫したり、本を読むことへの意欲をもたせたりする。
言語に関する 知識・理解	課題	拗音、促音、句読点、助詞「は・を・へ」、縦書きで文を書くときの書き方、平仮名の書き順の定着がやや不十分である。
	重点	正しい文章を丁寧に視写することを通して、言語に対する知識・理解の定着を図る。

算数科

関心・意欲・態度	課題	読むことへの抵抗感をもつ児童は、文章題への取り組みに消極的な場面が見られる。
	重点	読む活動を全体で繰り返し行い、慣れさせるようにする。「読む→絵や図で確認する」という過程を経て、内容を自力で確認できるように指導する。
算数的な 思考・判断	課題	題意をとらえることが難しい児童がいる。
	重点	学習状況に応じて、具体物操作や絵に描くなどして、解決の見通しをもたせてから、自力で解決する活動を行う。
算数的な 技能	課題	数の合成・分解の理解や、十の補数を見付ける力など、まだ充分でないところが見られる。
	重点	日々の授業の中で毎時間継続的に繰り返し取り組むことで技能の定着を図る。
知識・理解	課題	言葉の意味理解が不十分のため、式や図、操作と言葉がつながらずに、学習内容を十分に理解できない児童がいる。
	重点	操作や図、絵による表現に言葉を書き加えて板書し、その言葉を使って方法や意味を説明したり、問題を解いたりする活動を繰り返し行うことで意味理解を図る。

体育科

関心・意欲・態度	課題	はじめての運動に消極的な傾向が見られる。
	重点	段階を経て無理なく様々な動きに取り組み慣れることで、自信をもって運動に取り組むことができるようにする。
運動に対する 思考・判断	課題	どのようにすれば、上手にできるかを考えずに運動している児童がいる。
	重点	ペアやグループで教え合う活動を取り入れる。
運動における 技能	課題	基本的な動き（体の構え・手の着き方）が、まだ十分に身に付いていない児童がいる。握力や腹筋・背筋力が弱い。
	重点	授業の時に、固定施設を使う時間をつくり、慣れさせるようにする。準備運動で体を支持する活動を取り入れる。
安全・健康に 対する知識・ 理解	課題	
	重点	

生活科

関心・意欲・態度	課題	生活体験が少ない児童が多く、情報としては知っているものの、実際の関わりや経験が少ない児童が多い。
	重点	学校生活の様々な場面で、さまざまな感覚を使った様々な活動を取り入れ、経験する機会を増やすようにする。
活動や体験につ いての思考・判 断	課題	観察カードの記録などで、絵や文でどのように表現すればよいか分からずに活動が止まってしまうことがある。
	重点	よくかけている児童の記録を取り上げ、書き方の真似をしてみたり、児童同士でよいところを見付けたりする中で、自分の思いや考えを伝え合う活動を取り入れる。
身近な環境や自 分についての気 付き	課題	季節の変化や自然の不思議さへの気付きが少ない児童がいる。
	重点	校外授業や日常の場面で、季節を伝える植物や生き物に触れる機会を意図的に増やす。

## 音楽科

関心・意欲・態度	課題	歌うことや演奏することを楽しみながら活動できるが、めあてを意識して取り組むことができないことがある。
	重点	練習や活動の目的を視覚化して掲示し、見通しがもてるようにする。
表現の創意工夫	課題	曲のイメージをつかめずに、楽曲に合わせた歌い方や演奏の仕方、工夫することが十分でない児童がいる。
	重点	歌詞に合った写真や絵を見せたり、思いや気持ちを想像させたりして、曲に合わせた歌い方や演奏方法を指導する。また、互いのよさを見付けたり、伝えたりする活動を行う。
表現の技能	課題	正しい音程で歌ったり、正しい運指や吹き方で鍵盤ハーモニカを演奏したりすることが難しい児童がいる。
	重点	全員で歌う際に、正しい音程で歌えるように繰り返し練習し、グループで歌う活動も行う。鍵盤ハーモニカの演奏を見合ったり、聞き合ったりしてアドバイスをし合う活動を取り入れる。
鑑賞の能力	課題	楽曲を聴いて感じたことを体で表現するのが不十分な児童がいる。
	重点	常時活動の中で、拍子やリズムを感じ取る活動を取り入れ、音楽を感じ取る力を伸ばしていく。

## 図画工作科

造形への関心・意欲・態度	課題	楽しんで造形活動に取り組んでいる児童が多いが、作るものや、かくことを決められずに、活動に取りかかるまでに時間がかかる児童がいる。
	重点	様々な表現方法を提示する。友達の表現の仕方を尊重できるような雰囲気作りを心掛ける。
発想や構想の能力	課題	いろいろな描き方やつくり方が思い浮かばない児童がいる。
	重点	いろいろな描き方やつくり方を提示したり、試す時間をつくったりする。友達の良い作品も取り上げ、見本とする。
創造的な技能	課題	折る、線に沿って切る、向きを変えながら操作するなどの経験が少ない児童が多い。
	重点	ICT機器でやり方を写して見せたり、作業の流れなどの視覚情報を掲示したりして、確認できるようにする。友達と教え合う時間をとる。
鑑賞の能力	課題	友達の作品全体を楽しく見ることができるが、工夫したところに注目しながら鑑賞するという意識が低い。
	重点	作品を見合う前に、「自分も真似してみたいと思ったところ」など、見る視点を児童に分かりやすい言葉で伝え、何に注目して見れば良いのかを分かるようにする。